Copernicus Browserの基本的な使い方

Copernicus Browserを用いて衛星画像を表示させる方法を紹介します

目的と大まかな流れ

目的

見たい場所(陸地に限ります)で見たい期間(2017~)の衛星画像を表示させる方法を紹介します

流れ

1. Copernicus Browserにアクセス
2. 見たい場所へ地図の方のカーソルを合わせる
3. 「Show Latest Dataで表示」からカレンダーを選択して見たい日付を選択

2025年10月時点の情報に基づいています

まずは見たい場所と見たい期間を決めよう

1. **見たい場所はどこですか？**

   海上の場合はデータが基本的にはありません。

2. **見たい期間はいつですか？**

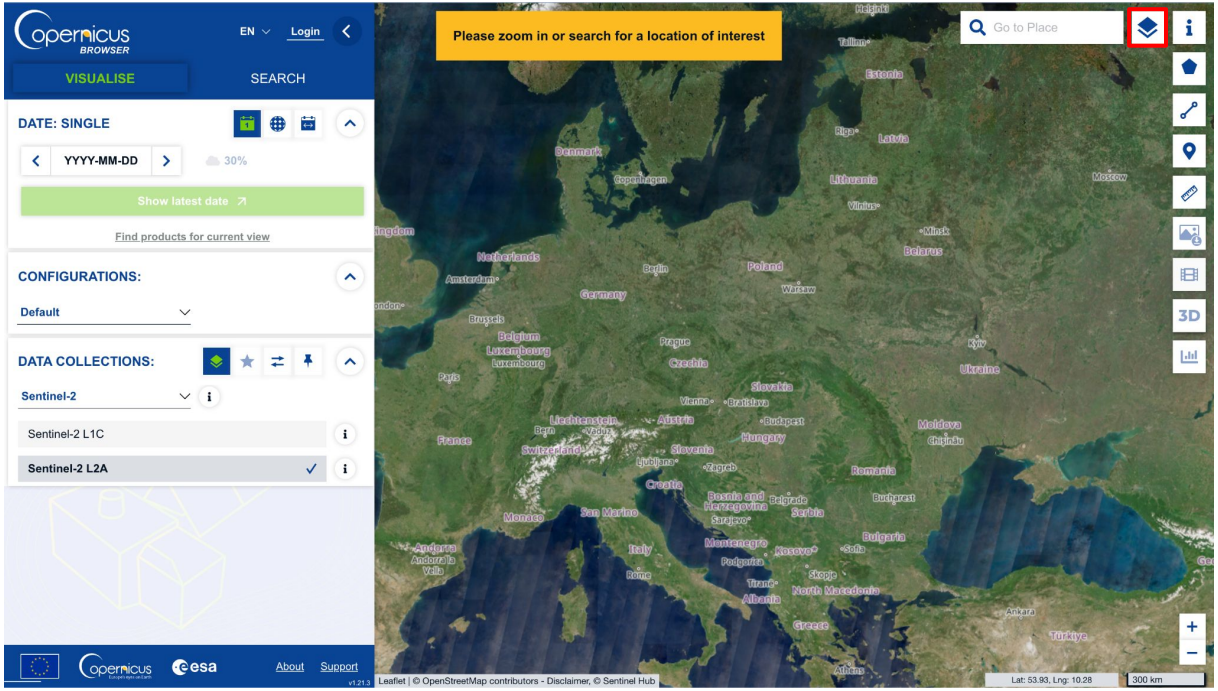
   ピンポイントに何年の何月何日と決まってきても、その日に衛星が撮影していなくデータがないことがあります。

   また、あったとしても雲で覆われていることがあります。

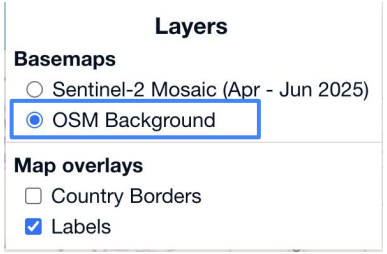
上2つが決まったら早速使ってみましょう！

Copernicus Browserにアクセスします

https://browser.dataspace.copernicus.eu/にアクセスしてください

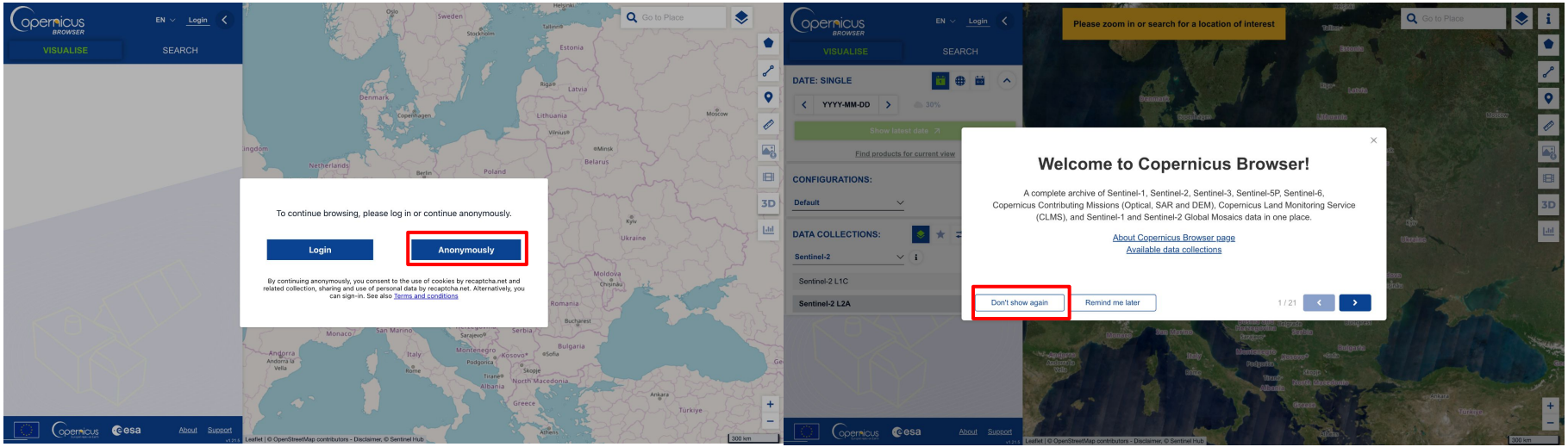


左の写真の画面になるはずです
赤枠で囲ったところにカーソルを合わせて**OSM Background**を選択してください



次は見たい場所に地図を移動させます

初回利用画面の操作方法



上の赤枠で囲ったところを選択してください

見たい場所へ地図を移動させます

方法は2つあります

1. 「皇居」など上の検索欄で検索
2. 地図上でドラッグして見たい場所まで移動

皆さんは見たい場所に移動しましょう

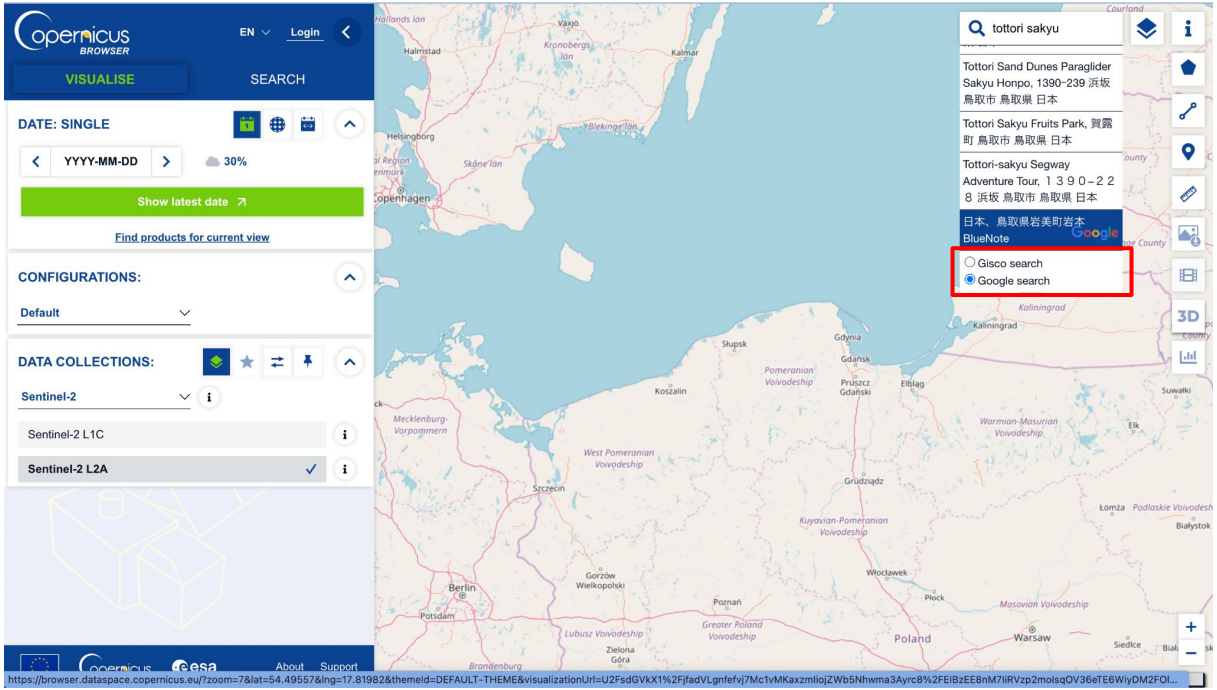
この資料では例として「雪が積もっている鳥取砂丘」を表示させたいので

「鳥取砂丘」に合わせます、日本語検索が弱いので「tottori sakyu」と検索欄に入力します(「鳥取砂丘」と日本語で入力して反応することもあります。)

確実性が高いのはローマ字入力です

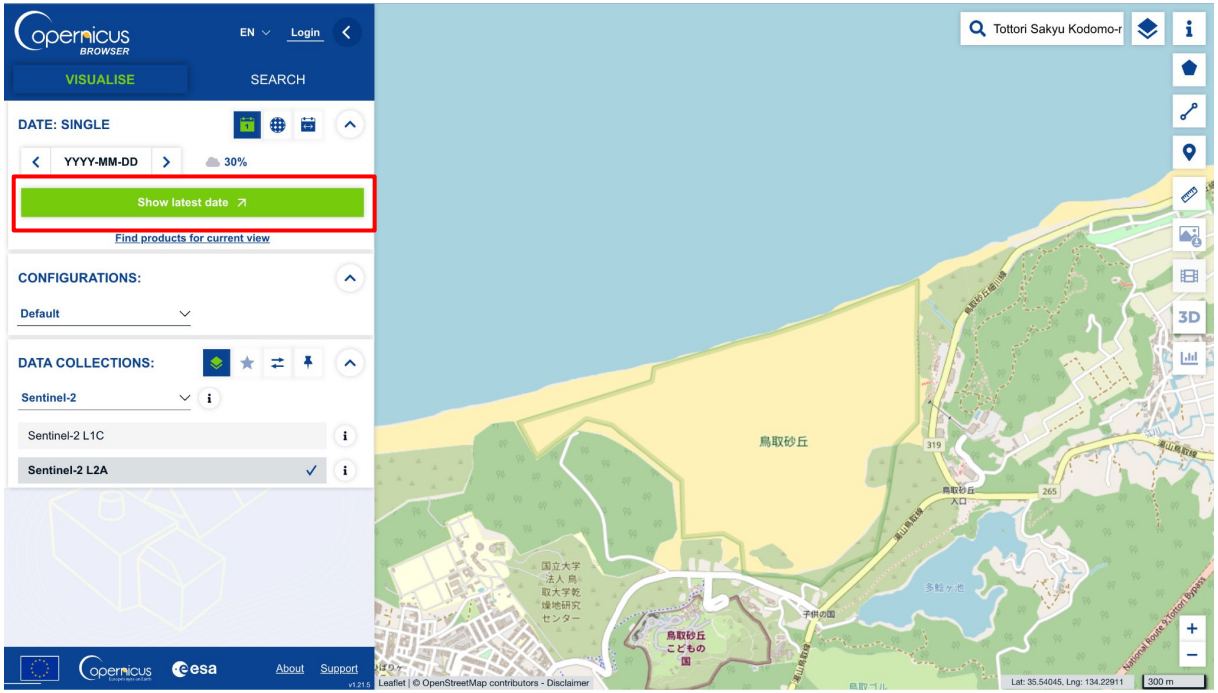
＊この時、左下の縮尺が 100m以下にすると見づらくなりますので注意してください

見たい場所へ地図を移動させます



Google search
を選択してください

見たい場所へ地図を移動させます

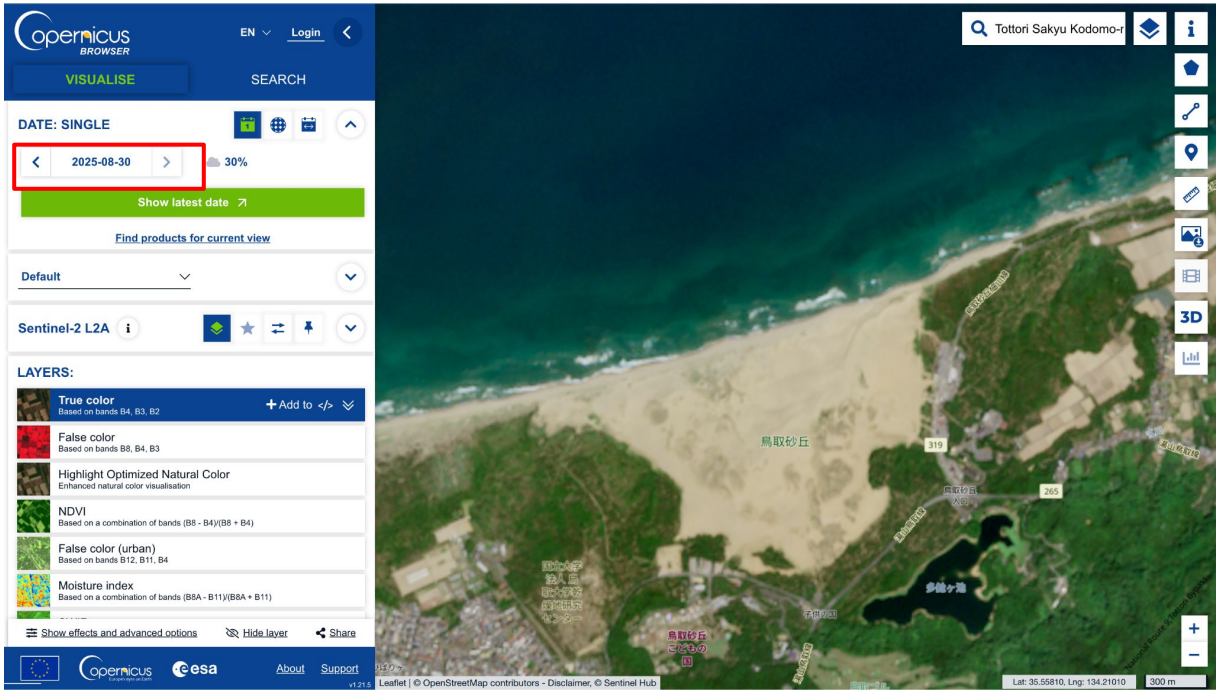


地図が移動できましたら、左の欄を設定します

緑色の
「Show latest data」
を選択してください

2025年10月時点の情報に基づいています

Copernicus Browser



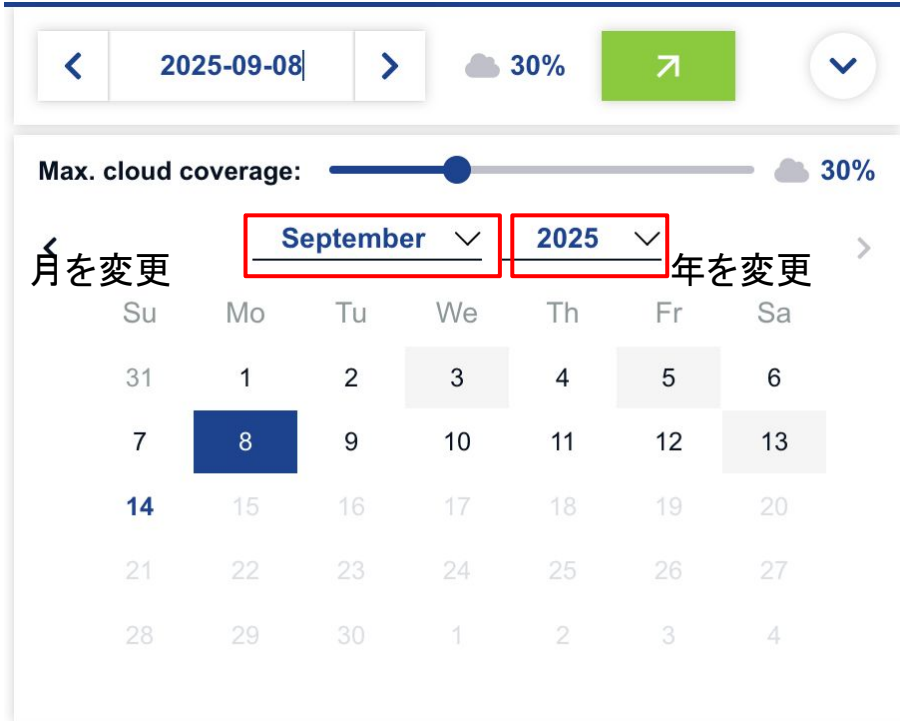
赤枠で囲った日付の衛星画像が表示されました

次に他の日付を見る方法を紹介します

雪が積もっていそうな2月を見ていきましょう

赤枠で囲ったところを選択してカレンダーを表示させましょう

他の日時の表示方法

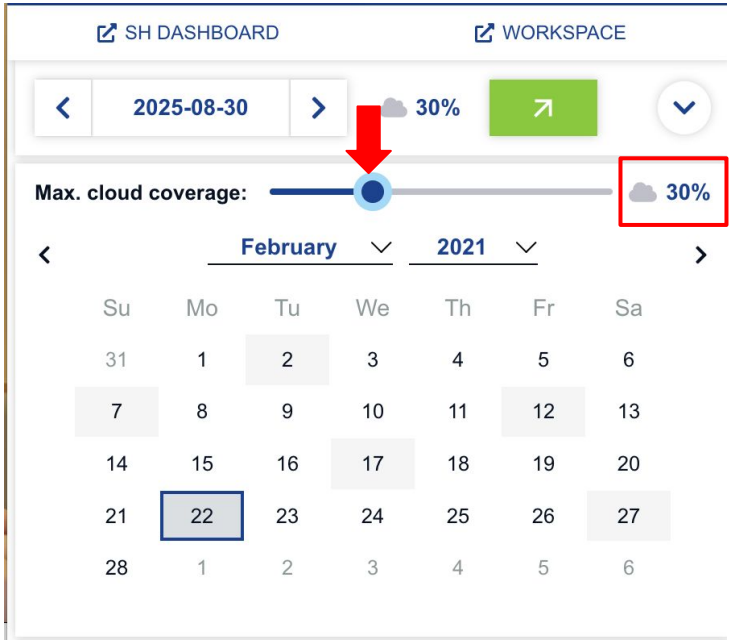


赤枠で囲った日付のところを選択するとカレンダーが出てきます

灰色になっているもしく青く囲われている日付を選択できます

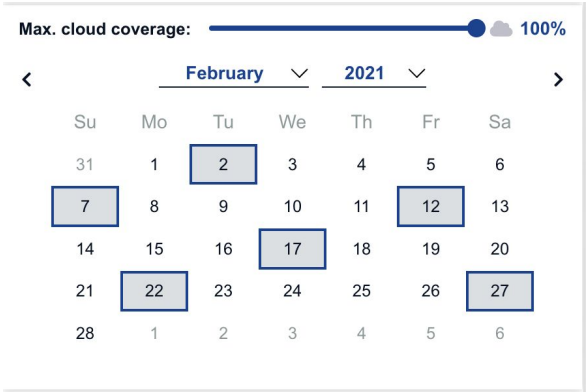
青く囲われている日付は雲の量が30%以下である日付ということです

2021年の2月Februaryに移動します



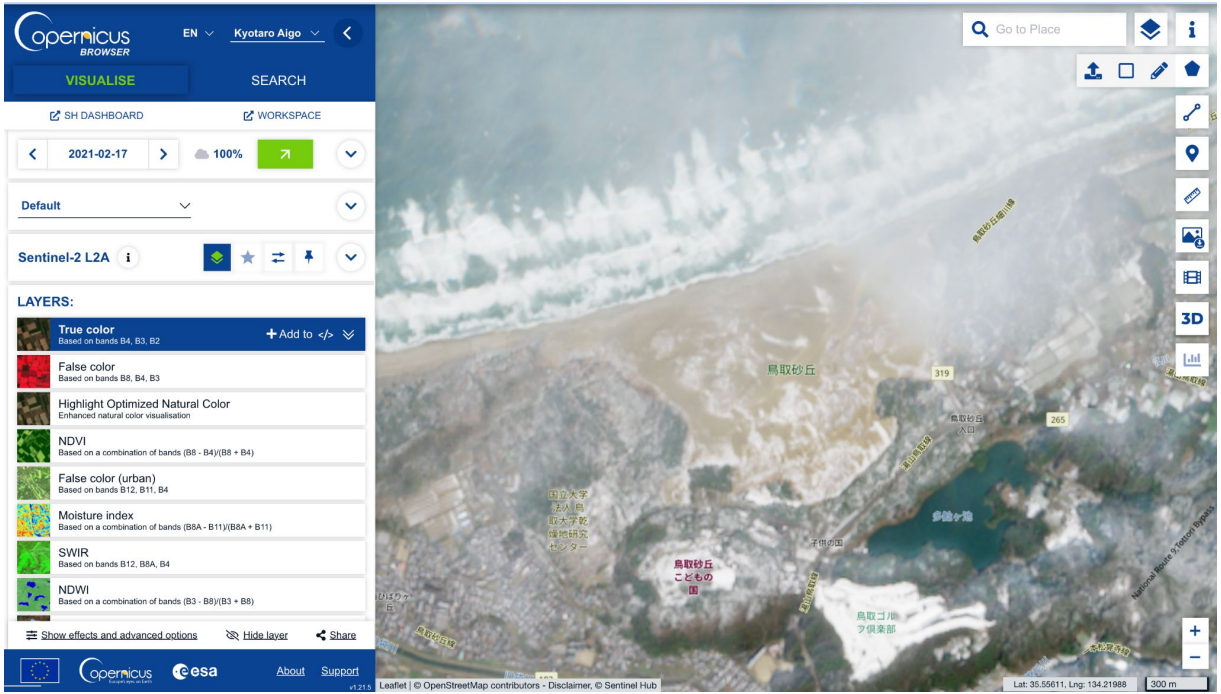
矢印にカーソルを合わせると雲の量の基準を変更できます

例えば、右端まで移動すると雲の割合が100%までの画像が青で囲われます



2月17日を選択してください

2021年2月17日の鳥取砂丘の衛星画像



積雪を確認できます

砂地に雪が残っていますね

ひとこと

特定の日付の衛星画像を評することは、撮影してないことや、撮影していても雲がかかっていたりするので難しいです

そのため予想しているようなデータを見つけられると嬉しいです

衛星画像を表示できることに慣れていきましょう

2025年10月時点の情報に基づいています

出典:

Contains modified Copernicus Sentinel data 2025, European Union.

Screenshots from Copernicus Browser (© European Union).

注記:

本資料は教育目的で作成されたものです。

Copernicusのデータ利用条件は将来変更される可能性があります。

作成:

宇宙開発フォーラム実行委員会(SDF)　dot.プロジェクト